

皆さん、おはようございます。

本日で、令和6年度が終わります。まず初めに、この1年間に皆さんが見せてくれた努力と成長に心からの拍手を送りたいと思います。

この1年、皆さんは学業をはじめ、部活動や学校行事、そして日々の生活の中で多くの経験を積んできました。その一つ一つが皆さんの成長に大きく影響していることと思います。しかし、ふと別方向から自分を見てみると、「慣れ」が出てきてはいないでしょうか。Panasonicの創業者で経営の神様と呼ばれる松下幸之助さんの言葉に次のようなものがあります。「どんなに悔いても過去は変わらない。どれほど心配したところで未来もどうなるものでもない。今、現在に最善を尽くすことである。」

年度替わりのこの時期は、皆さんにとっては、次の学年に進むための大切な準備期間です。皆さん一人ひとりが持つ無限大の可能性を形あるものにするためにも、この春休みは次のことに気をつけながら過ごしてみてください。

1. 毎日各自で目標を決めて、自主学習時間を設け、それを続ける。
2. 健康管理や時間管理は大人になっても大切です。毎日の生活リズムを整え、規則正しい生活を心がける。
3. 普段学校がある時にはできないこと、部活動や地域行事などに全力で参加する。

「『どこかまだ足りないところがある』『まだまだ道があるはずだ』と、考え続ける人の日々は輝いている。」これも松下幸之助さんの言葉ですが、4月から一つずつ学年が上がる皆さんには、輝く高校生活を送ってほしいと思っています。新入生を迎え後輩をサポートしながら、自分自身も大きく成長するためにも、今を大切に、何か一つでも頑張ったと思うことが残る春休みとしてください。

新年度からの皆さんの一層の活躍を期待して、令和6年度第3学期終業式の式辞といたします。

令和7年3月 19日

愛媛県立野村高等学校長 松井 由紀子